



# R. I. 第2630地区 高山中央ロータリークラブ WEEKLY REPORT

2010～2011 年度 高山中央 RC 会長テーマ  
「心をつくし、力を合わせて」

◆会長 清水 幸平 ◆幹事 大保木 正博 ◆会報委員長 今井 俊治 ◆会報担当 水川 巧

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市花岡町 1-15 丸越商事 4F  
TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488  
◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600  
◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～  
◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

## <出席報告>

	会員数	出席会員	出席	Make-up	出席率
本日 877 回	48 名	47 名	41 名	—	87.23%
前々回 875 回	48 名	47 名	43 名	0 名	91.49%

<点鐘> 会長 清水 幸平  
<ソング> 奉仕の理想

<会長の時間> 会長 清水 幸平

皆様こんにちは。

昨日から市議員の選挙が始まりました。時節柄静かな選挙運動の様ですが、大事な議員を選ぶ選挙です。立候補される方は自分の主張を市民の皆さまに伝えるように、必要な選挙活動はしっかりとやって欲しいものです。



ラ・カメラータという地元出身の演奏家たちの集まりが、東日本大地震チャリティーコンサートを開催されるそうです。このグループは、昨年の例会で演奏をしていただいた声楽の平野嘉世子さんたちが中心になっておられます。そこで平野さんからの依頼でこのチャリティーコンサートに協力することになりました。前回の理事会で承認をいただきました。皆様一人当たり 2 枚以上の協力をお願いします。また、コンサート会場は満席にしたいとの要望です。チケットを受け取られた方は、是非当日は演奏会に足を運んで下さることをお願い致します。コンサート当日は受付等のお手伝いも依頼されています。協力して頂けるメンバーは申し出てください。お願い致します。

先日、国際親善奨学金の応募者がありました。先週末に本人と面接をさせていただきました。現在は東京に在住の女性で、両親は一之宮町に住んでおられます。希望地はアメリカ東部の学校です。目標をしっかり持っておられる女

性です。地区で決定されましたら例会にも出席して頂きたいと思えます。

本日は、地区協議会報告の例会です。いよいよ次年度が活動を開始しました。良いスタートができますように頑張ってください。今年度はすでに 4 分の 3 が経過し、終盤の追い込みの時期に来たかなと思っています。しかしまだ大事な 20 周年記念例会や続々と事業が続きます。会員の皆さまのご協力を宜しくお願い致します。

<幹事報告> 幹事 大保木 正博

- ◎R I 本部より
  - ・ロータリーアン誌
- ◎濃飛分区ガバナー補佐より
  - ・ガバナー補佐最終訪問について  
5 月 23 日 (月)
- ◎ロータリー米山記念奨学会より
  - ・ハイライトよねやま 133
- 高山ロータリークラブより
  - ・例会変更のお知らせ  
5 月 5 日 (木) 休会 法定休日



<飛騨高山国際協会より>

- ・平成 23 年度飛騨高山国際協会通常総会の開催について

日時：4 月 28 日 (木) 10:00～11:00  
会場：高山市役所 4 階会議室

<高山市都市提携委員会より>

- ・平成 23 年度高山市都市提携委員会会議の開催について

日時：4 月 28 日 (木) 11:00～12:00  
会場：高山市役所 4 階会議室

<ぎふ清流国体高山実行委員会より>

- ・ぎふ清流国体高山実行委員会第 3 回常任委員会及び総会開催のご案内

日時：5 月 12 日 (木) 13:30～15:00  
会場：高山市役所市民ホール

東北地方太平洋沖地震に対する  
義援金として集まったお金  
第 1 回目 50,000 円  
第 2 回目 74,370 円 送金しました。

## <本日のプログラム>

### 【 地区協議会報告 】

次期幹事 新宮 一郎

#### <出席者>

会長エレクト	平林 英一
次期幹事	新宮 一郎
次期会計	谷口 欣也
次期職業奉仕委員	島 良明
次期拡大増強委員長	都竹 太志
次期社会奉仕委員長	下田 徳彦
次期環境保全委員長	中田 学
次期広報情報委員長	谷腰 康夫
次期青少年育成委員長	津田 久嗣
次期米山奨学委員長	和田 良博
次期ロータリー財団委員長	岩垣津 亘
地区役員	
次期ガバナー補佐	釧田 広喜
青少年副委員長	伊藤 正隆
次期青少年副委員長	永家 将嗣

14 名の参加者

4 月 17 日四日市市文化会館にてバス組と自家用車組とに分かれて参加しました。

遅刻者もなく 7 時前には出発が出来、大変スムーズに四日市に到着する事が出来ました。

到着後は登録後昼食をとり、12 時からの全体セレモニーの後各委員会に分かれて分科会が行われました。



石井惣司ガバナーエレクトより RI 会長テーマ・強調事項・地区活動方針についての説明の中で次年度のロータリーの未来を見据え、  
4つの目標

1. 会員増強・維持
2. 青少年育成の強化
3. R 財団への更なる支援
4. 東日本大震災被災地域への支援

以上 4 項目を掲げられましたので 都竹君 津田君 下田君 岩垣津君より各委員会での報告をして頂きます。

## 次期会長 平林 英一

昨日地区協議会に参加されました皆様、本当にありがとうございました。

まずは、地区協議会の報告をさせていただきます。桑月ガバナーの話の中で、ロータリーの東日本大震災に対する支援についての話がありました。正式には、4 月 25 日に決定されますが、親を亡くした子供達に毎月支援をする、長期的計画でやりたいということでした。



私は、会長、幹事、会計の分科会の方へ出ました。由良地区研修委員長の話の中で、CLP 導入についての話がありました。私には、それなりに考えはあるのですが、小クラブに関しては非常に良いと思うのですが、50 人～60 人のクラブに CLP を導入した場合、負担がどのようになるかということで、私自身は逆に負担が増えるのではないかと思いますしながら話を聞いておりました。

目的としては、クラブの戦略的活性化を長期計画を持ってするという話がありました。全員参加のクラブ活動、少人数のクラブにおいては、全員参加するというのが、活動として大事だということです。これからは、各クラブ長所、短所の見直しをして、しっかりクラブの活動をしていただきたいということで、ドラッカーの考えをロータリーにとこの話が出ました。組織のマネージメントに関することなのですが、それに関しての話が出たということです。

これからテーマの話をさせていただきます。

大事なテーマは、次のように決めました。

「人として生きる」です。

今年 3 月 11 日には東日本で未曾有の大震災がありました。想像もつかないほどひどい被害の中で被災者が助け合い生き抜こうとしている姿、東北人の強い団結力と勇気、心の優しさを知りました。世界の各国々の人は、その姿を深く感じとったのでしょうか。

人と物資両面で援助し、一つとなって日本の復興に向けて手をつなぎ強い絆の大切さを教えてくれました。

さらに、愛する人、大切な人との幸せ喜びを分かちあう、そのためにはまずは人を思いやること大切にすること、誰も一人じゃない。人は支えあうのだと。高山中央ロータリーの仲間と「人として生きる」意味を考え実行したいと思います。

まさしく、2011～2012 年度国際ロータリー会長カルヤン・バネルジー氏のテーマは「こころの中を見つめよう、博愛を広げるために」

まずは、自己を省みて心に平和を見出すこと、そこから家族の平和をもたらし、そしてほかの人々と分かち合う地域の平和をもたらすのだと。私たちロータリーがめざすこ

ろだと思えます。

活動指針については、本年度もロータリー活動での奉仕の精神の出発点は例会であり、楽しく意義あるものになければなりません。会員の退会防止と更なる会員増強をめざし、会員間の更なる交流と親睦を深めるために理事役員一致団結してクラブの活性化と資質の向上を目指します。青少年の健全育成の一助となる活動を更に推進します。

ローター財団への更なる支援をします。

そして、会長賞を目指します。そのためには、女性会員を増加させます。若手層の会員（45歳以下）の勧誘、会員増強を目指します。

会長としてこれからの高山中央ロータリークラブの活動に私自身、熱意と情熱をもって頑張ります。なにとぞ、皆様のご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

### 次期社会奉仕委員長 下田 徳彦

昨日、四日市で開催された 2630 地区協議会に行き参りました。前回の例会にて清水会長より地区協議会で当クラブの活動報告の依頼がありましたので、世界社会奉仕の分科会に参加し 10 分間の活動報告をしました。当クラブは世界社会奉仕 (WCS) 委員会より補助金を受け「ビルメロの会」との協力で、ミャンマーの恵まれない子どもたちへの教育物資支援をして参りました。補助金を受けて活動している 5 クラブのトップバッターとして報告しました。質疑の時間にまさかの質問があり、少し焦りましたが、何とか対応させていただきました。

その他 4 クラブについての活動を紹介します。熊野 RC はブラジルにあるバストス日本語学校への教材を贈る事業を計画中です。恵那 RC はスリランカ国立病院へ中古救急車を寄贈しました。大垣 RC はベトナムへの



中古消防車 2 台を寄贈しました。寄贈した救急車、消防車は 20 年程前の車両ですが、現地で使われている車両と比べても、まだまだ新しく設備も充実しており、大変喜ばれたそうです。その後先方の代表が来日されて市長への表敬訪問もあり、さらなる友好関係も築けました。最後に四日市では 5 つの RC が協力してカンボジアの井戸掘り事業を行いました。現地では人間が家畜と同じ水を飲んでいる場所もまだまだたくさんあります。ただ井戸を掘っても国土の 50% からヒ素が検出されるそうです。そんな中、無事井戸を掘ることができました。

どのクラブも共通していることがあります。それは当クラブの「ビルメロの会」のように現地で既に活動している人たちと協力連携することです。海外展開している現地法人であったり、姉妹 RC、米山奨学生等の「つながり」を活かし、政府の理解や協力を得る事が大切である。分科会に参加して活動報告の大役を務めさせていただき、RC の事

をまた少し勉強できました。ありがとうございました。

### 次期拡大増強委員長 都竹 太志

中川委員長の話は、正直いってよくわからなかったんですが、アドバイザーの田中さんがいい話をされましたので、そのことについて話をしたいと思えます。

ロータリーの道という、ポールハリス氏の書いた本があり、その中に『果たしていない責任と義務があることをご存知ですか。』という問い



掛けがあります。このロータリーという会が、素晴らしい会であることを、もっともっと他の人に知らせること、分かち合うこと、これが我々の責任と義務である。そしてこれは、会員全員一人一人が責任と義務があることを再認識してほしい。

たゆまぬ努力があったから、今のこのロータリーがあり、今後もその活動を続けて行っていただきたい、そのためにはどうしたらいいのかということが、この会員増強であるという所に結び付いていくのです。そういう話をされました。

会員増強ということで、会員一人一人が、このロータリーという会を皆に知らせること、分かち合う努力を、していかなければならないということを学んできました。

### 次期青少年育成委員長 津田 久嗣

青少年育成委員会は、伊藤正隆地区副委員長の説明で、各クラブの取り組みなどについて説明をいただきました。

青少年育成委員会の提唱の時代背景としましては、バブル経済崩壊後の色々な社会の変化により青少年にもたくさん

の問題が発生してきたということで、2003年に文部科学省、厚生労働省、経済産業省、内閣府が連携で、その対策にということで若者自立を取りまとめた、自立で



きる能力をつけることを目的としたキャリア教育の必要性を打ち出してきた。それに合わせて 2003 年、全国ガバナー会において、国のこれからの政策を後押しすべく青少年育成委員会の設置を各クラブに提唱した。

キャリア教育とは、特定の職業や組織の中の働き方にとどまらず、広く働くことのかかわりを通じて、個人に体験につながりとしての生きざまを示すようになったとなっておりますが、はっきりとした意識を持たせるということ

す。職に対してキャリア教育としましては、小中高一貫教育ということで、小学校、中学校、高校とありますが、職場体験は小学校が職場見学、高校においては保育体験、福祉体験などありますが、その中で中学生出前講座を高山は、一昨年に続き行うということでございます。

ロータリーで取組むこととしては、まず地域の教育委員会との意見交換や情報交換の場を設定して、緊密な連携をとる。各学校と接触交渉をして出前講座、講師派遣などの打合せを実行するということになりませんが、高山は一昨年に続き行っていきます。

高山としては、一昨年中学で出前講座を実施しておりますが、これは3年継続事業となっておりますので本年も出前講座を実施させていただくようになっております。

他では青少年育成委員会の事業となっておりますが、高山では実働部隊としては社会奉仕委員会の方が行っていたけるそうなので、私としては別の意味で青少年育成委員会の例会を設営していきます。

## 次期ロータリー財団委員長 岩垣津 亘

全体会議で次期ガバナーから、ロータリー財団へ更なる支援をお願いしますという話がありました。ポリオ撲滅への努力、世界全体のロータリークラブがポリオ撲滅へ向け努力し、現在4カ国（パキスタン、インド、ナイジェリア、アフガニスタン）で1606症例まで減少している。更なるワクチン接種を必要としていますので寄付に協力して下さい。

2013年7月1日から、未来の夢計画というのが始まりまして、財団のお金の配分が変わってきます。それに向けて順番に各クラブで研究をしていっていただきたいとのことでした。

分科会におきましては、ロータリー財団委員会の中にポリオプラス委員会、推進委員会、補助金委員会、奨学金委員会、学友委員会、研究グループ交換委員会があったんですが、当地区の2009～2010年の会員数3296名で、その寄付金額が289,589

ドル、1人当たり87ドル86セントということでした。その逆に必要な寄付金の額というのは、まず先ほど奨学金の話が出ましたけども、国際

親善奨学生一応5名予定で、125,000ドル、1人当たり25,000ドルの予定、それから世界フェローシップに25,000ドル、地区補助金に30,000ドル合せて180,000ドル必要だということで、180,000ドルでも50%なんです。その倍の360,000ドルが目標金額ということでした。高山中央ロータリークラブの寄付金の額を見ますと、2630地区80クラブの約真ん中40番目位でした。

今までは、GSE研究グループ交換というのがありましたが、今年度が最後だそうです。来年の3月～4月の4週間にかけて、この地区から行くグループは決まっているそうです。このGSEという活動はなくなります。2013年度からは、職業研修チームという名前で新しく始まることになりました。

奨学生の話は、今募集をしております。来年の7月から派遣になる分、今当クラブも向かっているところです。



### <ニコニコBOX>

4月11日、イチブツグループの社員の皆様と会社から合せて44万円の義援金を出させて頂きました。来年3月11日まで毎月11日に出させて頂きます。顔晴れ東日本!! 顔晴ろう日本!! 島 良明

明日より息子が東北石巻へボランティアに行きます。私も一緒にと思いましたが、時間が合わず断念。次回はぜひ同行したいと思っておりますが・・・足手まとい? 田中 雅昭

4月16日中山中学校野球部が、全日本少年軟式野球高山大会で優勝することが出来ましたので、この喜びをニコニコへ。堀口 裕之

長男が、無事整備士の国家試験に合格し、次の学校へ進学できました。津田 久嗣

昨日の地区協議会に出席の皆様ご苦勞様でした。後で発表の皆様宜しくお祈りします。新宮 一郎

昨日の地区協議会に出席された方々ご苦勞様でした。帰りの食事の際には次期会長幹事さん大変お世話になり、楽しかったです。谷腰 康夫

昨日の地区協議会に出席の皆様ご苦勞様でした。私も、青少年育成委員会の発表も無事終わりましたのでニコニコへ。伊藤 正隆

先日の結婚記念日にはおいしいお菓子を頂きありがとうございました。下田 徳彦

誕生日プレゼントにネクタイを頂きありがとうございました。松之木 映一

今日は、松中で歯科検診があるので食事をしたら早退させて頂きます。高木 純